



第4回 下水道等事業運営審議会

- 1 下水道等使用料の改定について
- 2 下水道アクションプログラム（案）について

平成27年10月26日
環境下水道部下水道企画課



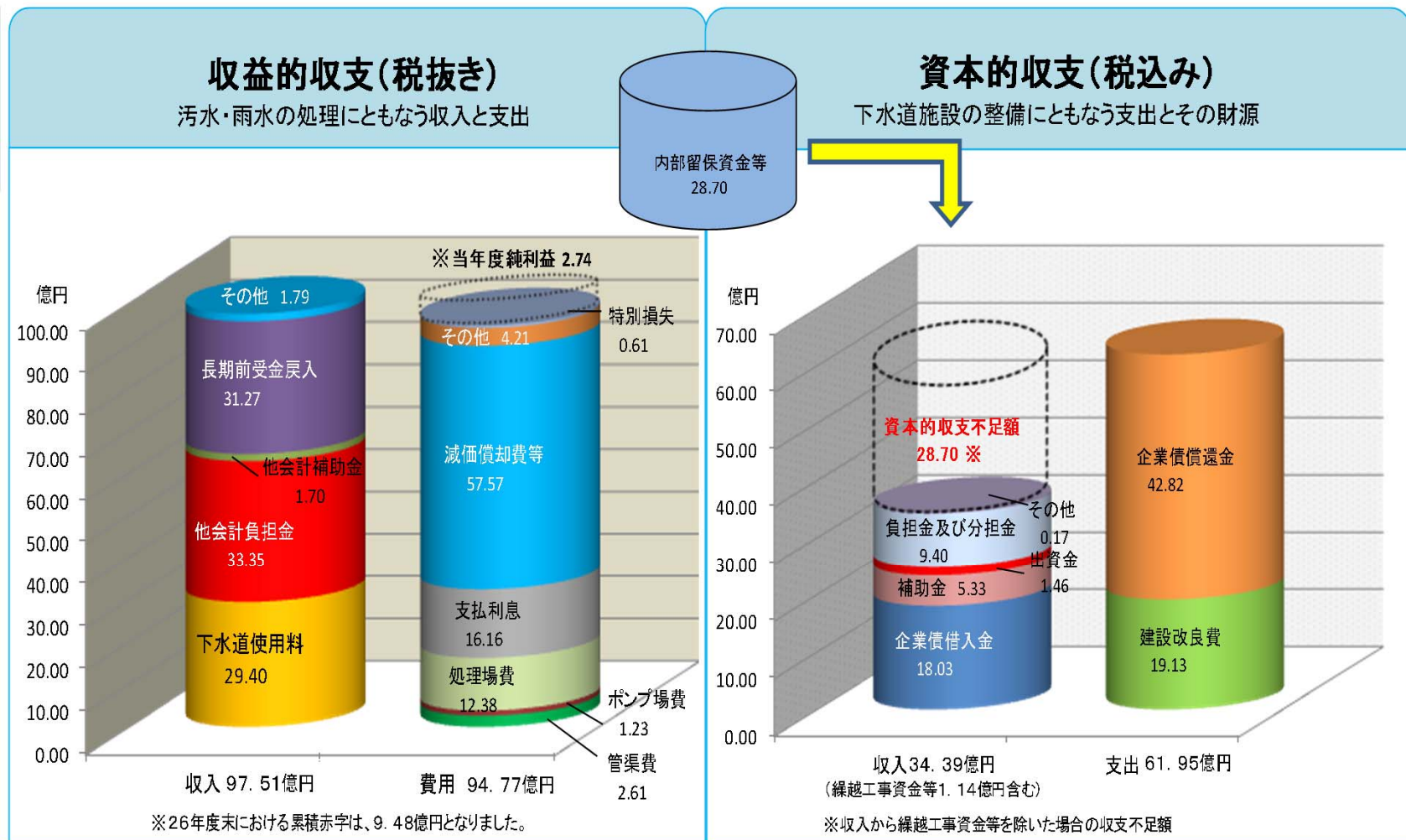
目次

1. 平成26年度決算状況の報告・・・・・・・・・・ P.2

2. 料金改定案について
 - (1) 前回(10/1)審議会意見・・・・・・・・ P.3
 - (2) 経費回収率100%の場合・・・・・・・・ P.4
 - (3) 基本料金の設定について・・・・・・・・ P.5
 - (4) 現行の従量料金について・・・・・・・・ P.6
 - (5) 各案の改定イメージ・・・・・・・・ P.7、8
 - (6) 企業努力による経費縮減等について P.9
 - (7) 事務局案・・・・・・・・ P.10

3. 今後のスケジュール・・・・・・・・・・ P.13

1.平成26年度下水道等事業決算状況



2. 料金改定案について

(1) 前回(10/1)審議会意見

H27.10.1審議会発言順

| | ご意見 |
|---|---|
| 1 | 最初から経費回収率100%ありきではなく、A案(100%)とB案(95%)の間くらいで、企業努力分も含めた形で100%に近づける方が良い。 |
| 2 | 基本料金の値上げの幅、段階をなるべく短い回数で1,258円に持っていくこと。 |
| 3 | 大体の意見を聴いているとA案(100%)が多いので、次回は、できればA案をぎりぎりの線までどこまでなら頑張れるということを含めた形で、100%に近い形にして提案すること。 |

(2) 経費回収率100パーセントの場合

【平均改定率17%(経費回収率100%)案】

| 改定案 | 平均改定率 | 経費回収率 | 累進度 | 基本料金 | | | 8m ³ /月あたり | | | 20m ³ /月あたり | | | ・改定内容 (+)メリット/(-)デメリット |
|-----|-------|--------|-----|------|------|-------|-----------------------|------|-------|------------------------|------|-------|--|
| | | | | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | |
| 現行 | - | 85.5% | 2.3 | 856円 | - | - | 904円 | - | - | 2,212円 | - | - | |
| 案① | 17.1% | 100.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,060円 | 156円 | 17.3% | 2,596円 | 384円 | 17.4% | ・従量区分改定率一律17%増 (+) 公平な負担割合で分かり易い。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて低いままとなる。 |
| 案② | 17.0% | 100.0% | 1.9 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,220円 | 316円 | 35.0% | 2,564円 | 352円 | 15.9% | ・8m ³ /月料金 35%増 ・従量区分改定率一律 16%増 (+) 改定率が案①より抑制できる。 (0~8m ³ は除く。) (-) 単身世帯の改定率が大きくなる。 |
| 案③ | 17.0% | 100.0% | 2.1 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,180円 | 276円 | 30.5% | 2,500円 | 288円 | 13.0% | ・8m ³ /月料金 30.5%増 ・従量区分改定率通増 13%~20%増 (+) 一般家庭への負担を抑制できる。 (-) 単身世帯とより大口の使用者へ負担転嫁。 |
| 案④ | 17.0% | 100.0% | 2.4 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,028円 | 124円 | 13.7% | 2,540円 | 328円 | 14.8% | ・従量区分改定率通増 13.7~20%増 (+) 単身世帯及び一般家庭への負担を抑制できる。 (-) より大口の使用者に負担転嫁。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |

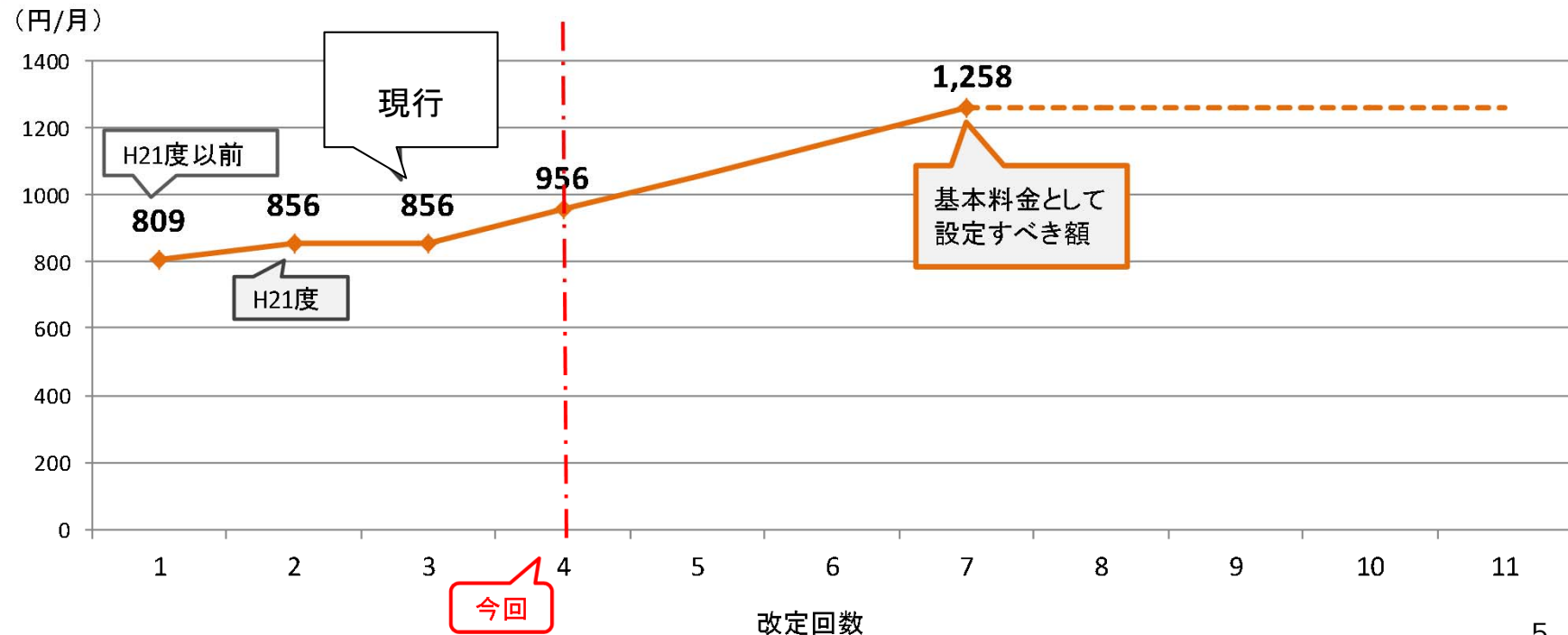
※累進度：従量区分のうちで最大水量区分の単価を最小単価で割ったもので、この数値が高いほど大口使用者の負担が大きくなる。

(3) 基本使用料の設定について

平成28～30年度の収支見通しによると1,258円を基本使用料に設定すべきですが、この場合、現行の基本使用料856円に比べて47.0%の大幅な増加となります。従って、固定的経費については、一般家庭の負担増を抑制する観点から、基本使用料にはその一部を対象とすることとします。今後はより一層の経営の安定を図るため、基本使用料と従量使用料の単価設定を段階的に見直していきます。

(現行) 856円 < 956円 (改定率11.7%) < 1,258円 (固定的経費必要額)

基本料金設定の推移と今後のイメージ



(2) 経費回収率100パーセントの場合

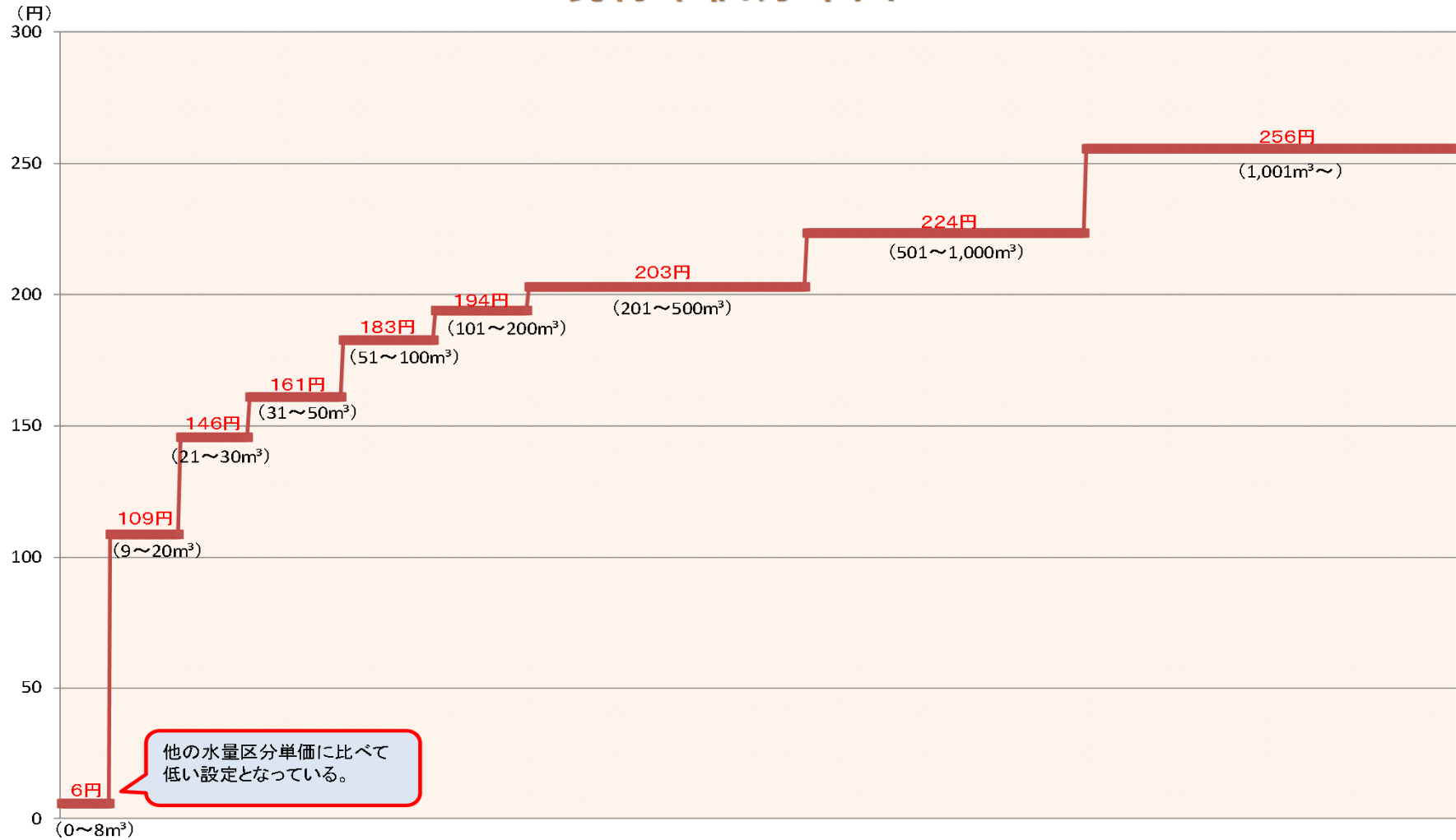
【平均改定率17%(経費回収率100%)案】

| 改定案 | 平均改定率 | 経費回収率 | 累進度 | 基本料金 | | | 8m ³ /月あたり | | | 20m ³ /月あたり | | | ・改定内容 (+)メリット/(-)デメリット |
|-----|-------|--------|-----|------|------|-------|-----------------------|------|-------|------------------------|------|-------|--|
| | | | | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | |
| 現行 | - | 85.5% | 2.3 | 856円 | - | - | 904円 | - | - | 2,212円 | - | - | |
| 案① | 17.1% | 100.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,060円 | 156円 | 17.3% | 2,596円 | 384円 | 17.4% | ・従量区分改定率一律17%増 (+) 公平な負担割合で分かり易い。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて低いままとなる。 |
| 案② | 17.0% | 100.0% | 1.9 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,220円 | 316円 | 35.0% | 2,564円 | 352円 | 15.9% | ・8m ³ /月料金 35%増 ・従量区分改定率一律 16%増 (+) 改定率が案①より抑制できる。 (0~8m ³ は除く。) (-) 単身世帯の改定率が大きくなる。 |
| 案③ | 17.0% | 100.0% | 2.1 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,180円 | 276円 | 30.5% | 2,500円 | 288円 | 13.0% | ・8m ³ /月料金 30.5%増 ・従量区分改定率通増 13%~20%増 (+) 一般家庭への負担を抑制できる。 (-) 単身世帯とより大口の使用者へ負担転嫁。 |
| 案④ | 17.0% | 100.0% | 2.4 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,028円 | 124円 | 13.7% | 2,540円 | 328円 | 14.8% | ・従量区分改定率通増 13.7~20%増 (+) 単身世帯及び一般家庭への負担を抑制できる。 (-) より大口の使用者に負担転嫁。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |

※累進度：従量区分のうちで最大水量区分の単価を最小単価で割ったもので、この数値が高いほど大口使用者の負担が大きくなる。

(4) 現行の従量料金について

現行単価分布図



()内は、本市における各水量区分。グラフ作成の関係上、水量区分間の比は無視している。

(2) 経費回収率100パーセントの場合

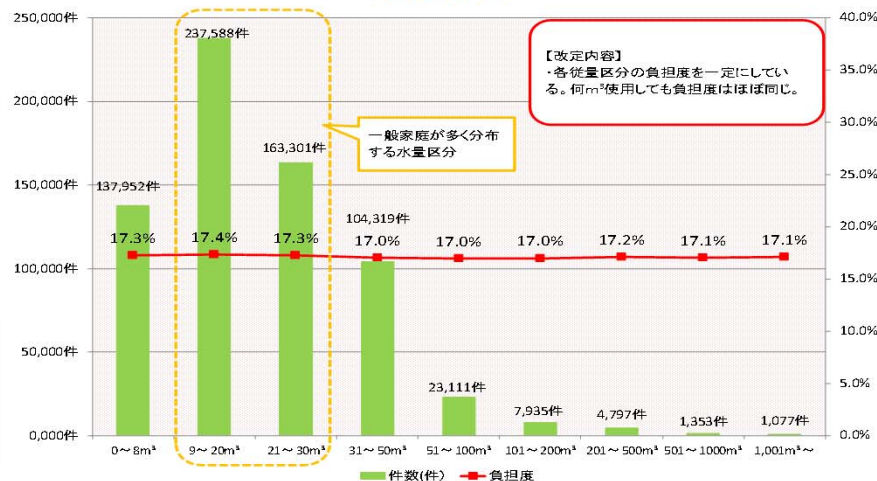
【平均改定率17%(経費回収率100%)案】

| 改定案 | 平均改定率 | 経費回収率 | 累進度 | 基本料金 | | | 8m ³ /月あたり | | | 20m ³ /月あたり | | | ・改定内容 (+)メリット/(-)デメリット |
|-----|-------|--------|-----|------|------|-------|-----------------------|------|-------|------------------------|------|-------|--|
| | | | | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | |
| 現行 | - | 85.5% | 2.3 | 856円 | - | - | 904円 | - | - | 2,212円 | - | - | |
| 案① | 17.1% | 100.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,060円 | 156円 | 17.3% | 2,596円 | 384円 | 17.4% | ・従量区分改定率一律17%増 (+) 公平な負担割合で分かり易い。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて低いままとなる。 |
| 案② | 17.0% | 100.0% | 1.9 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,220円 | 316円 | 35.0% | 2,564円 | 352円 | 15.9% | ・8m ³ /月料金 35%増 ・従量区分改定率一律 16%増 (+) 改定率が案①より抑制できる。 (0~8m ³ は除く。) (-) 単身世帯の改定率が大きくなる。 |
| 案③ | 17.0% | 100.0% | 2.1 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,180円 | 276円 | 30.5% | 2,500円 | 288円 | 13.0% | ・8m ³ /月料金 30.5%増 ・従量区分改定率通増 13%~20%増 (+) 一般家庭への負担を抑制できる。 (-) 単身世帯とより大口の使用者へ負担転嫁。 |
| 案④ | 17.0% | 100.0% | 2.4 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,028円 | 124円 | 13.7% | 2,540円 | 328円 | 14.8% | ・従量区分改定率通増 13.7~20%増 (+) 単身世帯及び一般家庭への負担を抑制できる。 (-) より大口の使用者に負担転嫁。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |

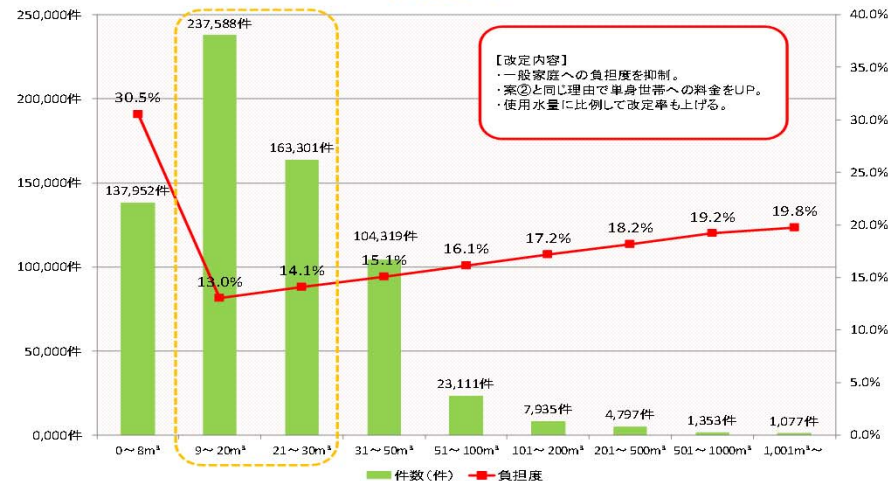
※累進度：従量区分のうちで最大水量区分の単価を最小単価で割ったもので、この数値が高いほど大口使用者の負担が大きくなる。

(5) 改定案①～④の改定イメージ 1/2

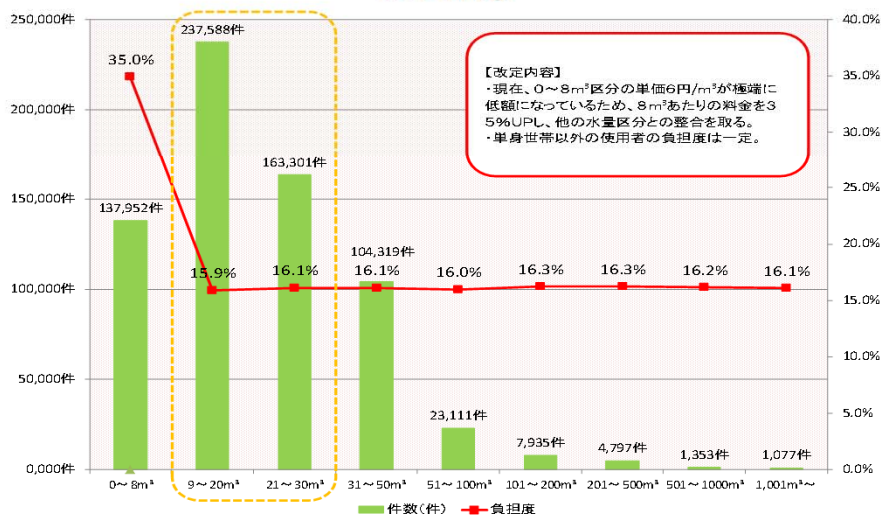
改定案①



改定案③



改定案②



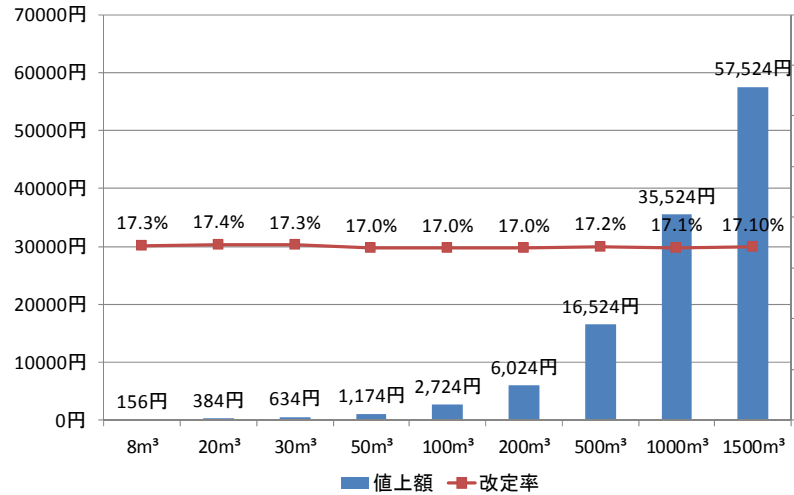
改定案④



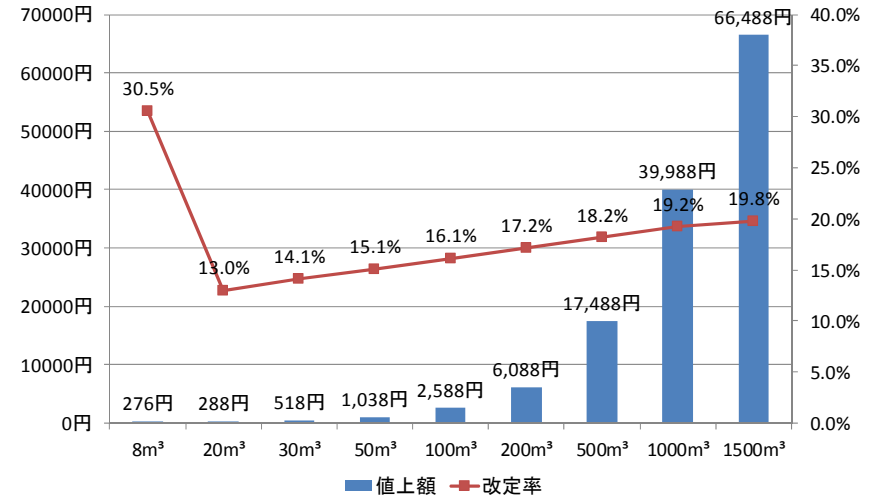
※各水量区分の改定率は、その水量区分の最大水量(0~8m³の区分であれば8m³)における改定率を表示している。なお、1,001m³~の区分は、便宜的に1,500m³における改定率を表示している。

(5) 改定案①～④の改定イメージ 2/2

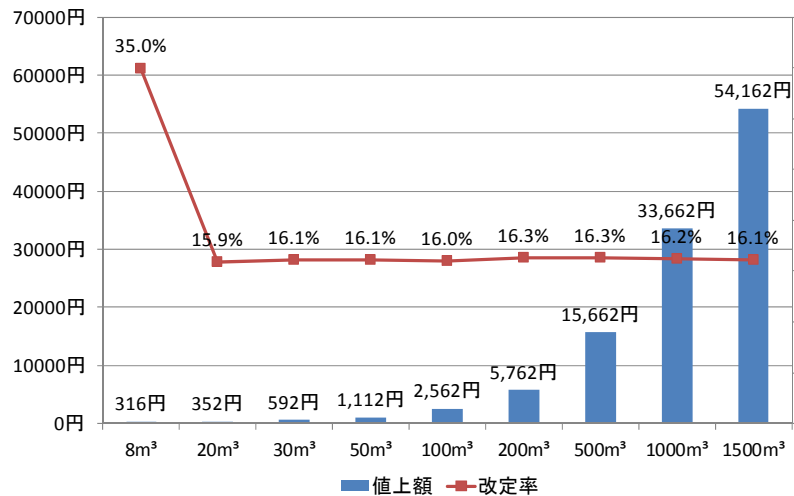
案① 改定率と値上額の相関関係



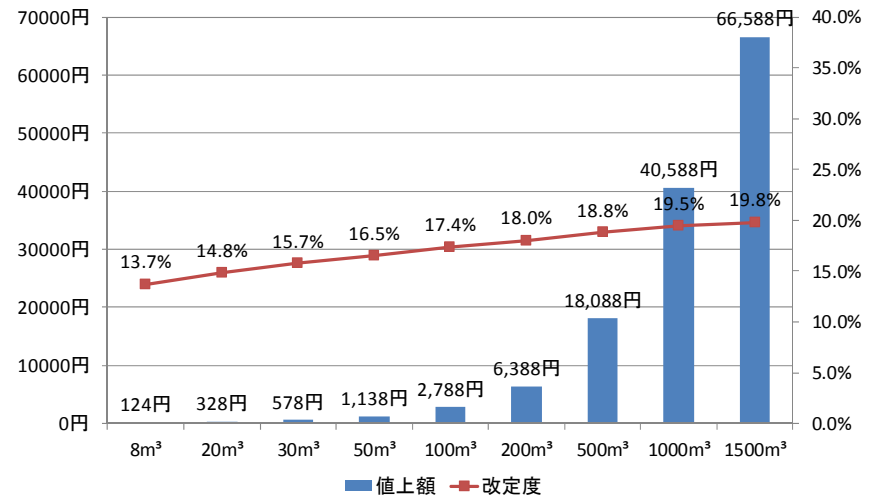
案③ 改定率と値上額の相関関係



案② 改定率と値上額の相関関係



案④ 改定率と値上額の相関関係



(2) 経費回収率100パーセントの場合


【平均改定率17%(経費回収率100%)案】

| 改定案 | 平均改定率 | 経費回収率 | 累進度 | 基本料金 | | | 8m ³ /月あたり | | | 20m ³ /月あたり | | | ・改定内容 (+)メリット/(-)デメリット |
|-----|-------|--------|-----|------|------|-------|-----------------------|------|-------|------------------------|------|-------|--|
| | | | | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | |
| 現行 | - | 85.5% | 2.3 | 856円 | - | - | 904円 | - | - | 2,212円 | - | - | |
| 案① | 17.1% | 100.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,060円 | 156円 | 17.3% | 2,596円 | 384円 | 17.4% | ・従量区分改定率一律17%増 (+) 公平な負担割合で分かり易い。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて低いままとなる。 |
| 案② | 17.0% | 100.0% | 1.9 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,220円 | 316円 | 35.0% | 2,564円 | 352円 | 15.9% | ・8m ³ /月料金 35%増 ・従量区分改定率一律 16%増 (+) 改定率が案①より抑制できる。 (0~8m ³ は除く。) (-) 単身世帯の改定率が大きくなる。 |
| 案③ | 17.0% | 100.0% | 2.1 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,180円 | 276円 | 30.5% | 2,500円 | 288円 | 13.0% | ・8m ³ /月料金 30.5%増 ・従量区分改定率通増 13%~20%増 (+) 一般家庭への負担を抑制できる。 (-) 単身世帯とより大口の使用者へ負担転嫁。 |
| 案④ | 17.0% | 100.0% | 2.4 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,028円 | 124円 | 13.7% | 2,540円 | 328円 | 14.8% | ・従量区分改定率通増 13.7~20%増 (+) 単身世帯及び一般家庭への負担を抑制できる。 (-) より大口の使用者に負担転嫁。 (-) 0~8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |

※累進度：従量区分のうちで最大水量区分の単価を最小単価で割ったもので、この数値が高いほど大口使用者の負担が大きくなる。



(6) 企業努力による経費削減等について

- ①アクションプログラムに基づく普及率の向上等により、使用料収入を約1%(年間約3,100万円)増収に努めます。
- ②維持管理費を中心に使用料対象経費の約1%(年間約3,300万円)縮減に努めます。
-  これらの取組みにより、3年間で約1.9億円(使用料対象経費の2%相当)の創出に努めます。

(7) 事務局案

事務局案

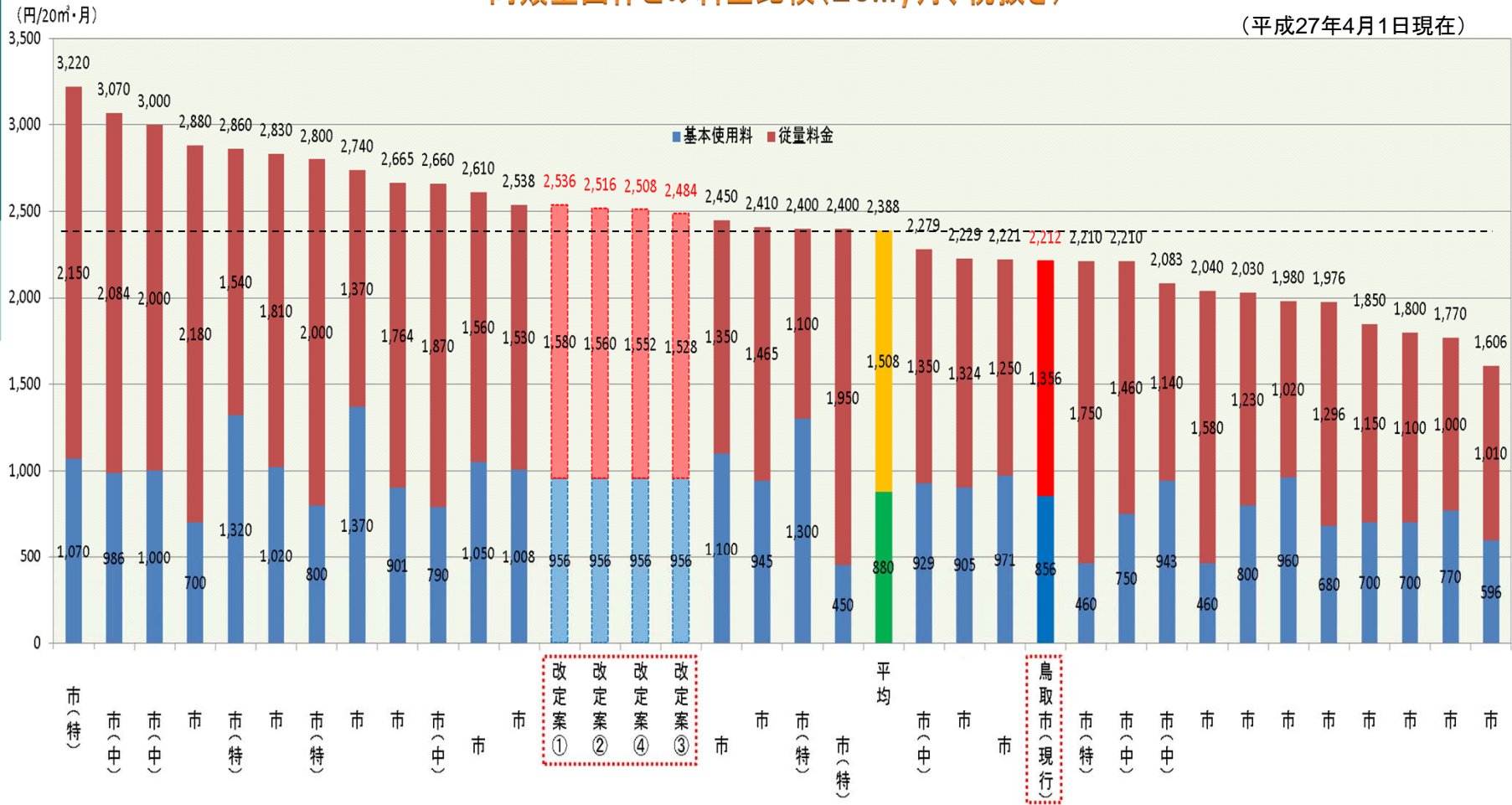
【平均改定率14.6～14.7%案(企業努力含む)】

| 改定案 | 平均改定率 | 経費回収率 | 累進度 | 基本料金 | | | 8m ³ /月あたり | | | 20m ³ /月あたり | | | ・改定内容 (+)メリット/(-)デメリット |
|-----|-------|-------|-----|------|------|-------|-----------------------|------|-------|------------------------|------|-------|--|
| | | | | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | 料金 | 値上額 | 改定率 | |
| 現行 | - | 85.5% | 2.3 | 856円 | - | - | 904円 | - | - | 2,212円 | - | - | |
| 案① | 14.7% | 98.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,036円 | 132円 | 14.6% | 2,536円 | 324円 | 14.6% | ・従量区分改定率一律14.6～14.9%増 (+) 公平な負担割合で分かり易い。 (-) 0～8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |
| 案② | 14.6% | 97.9% | 2.0 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,172円 | 268円 | 29.6% | 2,516円 | 304円 | 13.7% | ・8m ³ /月料金 29.6%増 ・従量区分改定率一律 13.7%増 (+) 改定率が案①より抑制できる。 (0～8m ³ は除く。) (-) 単身世帯の改定率が大きくなる。 |
| 案③ | 14.7% | 98.0% | 2.0 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,164円 | 260円 | 28.8% | 2,484円 | 272円 | 12.3% | ・8m ³ /月料金 28.8%増 ・従量区分改定率逡増 12.3%～15.9%増 (+) 一般家庭への負担を抑制できる (-) 単身世帯とより大口の使用者へ負担転嫁。 |
| 案④ | 14.7% | 98.0% | 2.3 | 956円 | 100円 | 11.7% | 1,020円 | 116円 | 12.8% | 2,508円 | 296円 | 13.4% | ・従量区分改定率逡増 12.8～16.6%増 (+) 単身世帯及び一般家庭への負担を抑制できる。 (-) より大口の使用者へ負担転嫁。 (-) 0～8m ³ の単価が他の水量区分に比べて極端に低いままとなる。 |

参考：平均改定率14.7%の場合

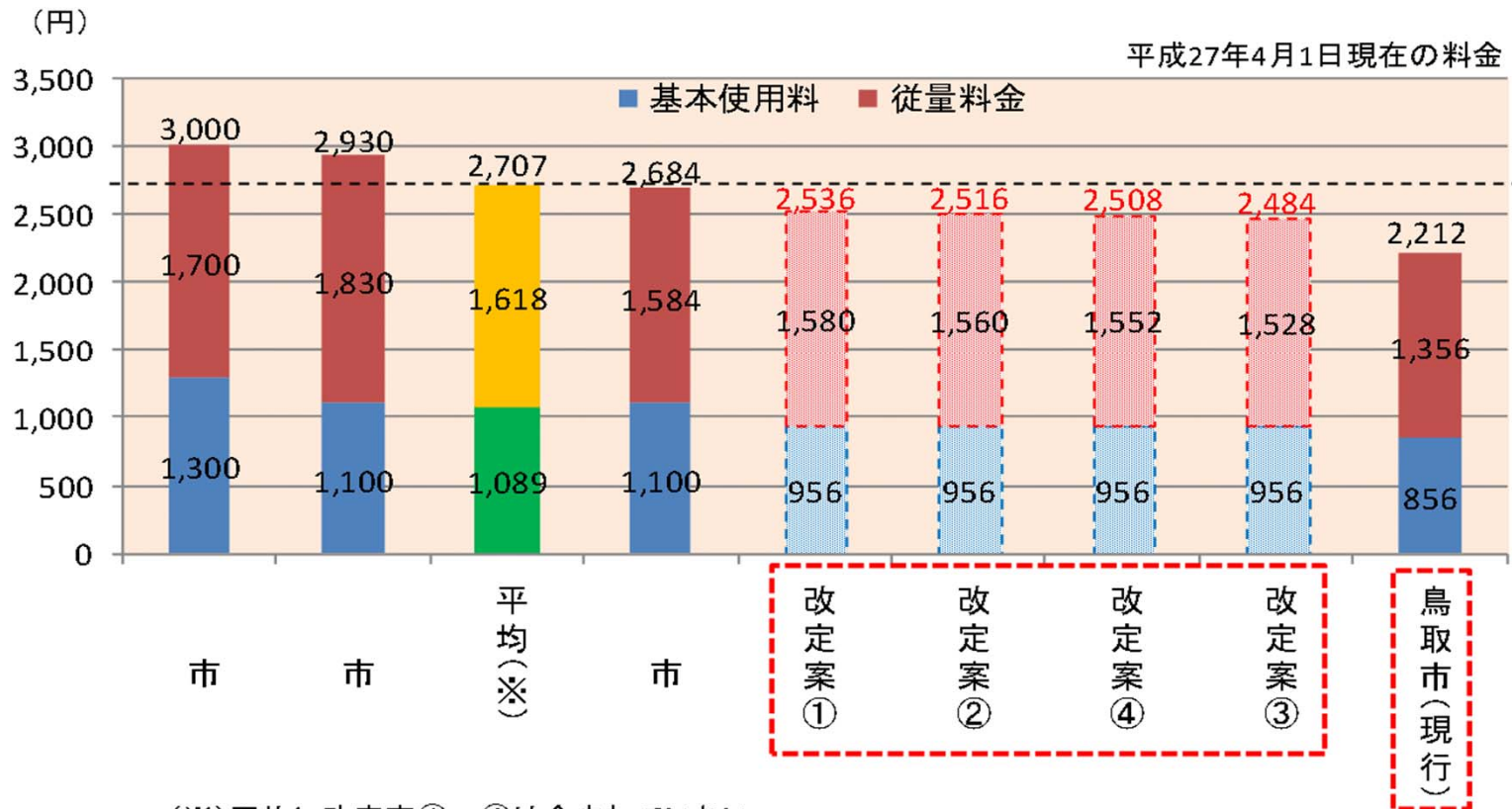
同類型団体との料金比較(20m³/月、税抜き)

(平成27年4月1日現在)



平均改定率14.7%の場合

県内他市料金比較(20m³/月、税抜き)



(※)平均に改定案①～④は含まれていない。